

伊藤喜美氏死去

93歳 バロー創業者



スーパーマーケット「バロー」創業者で相談役名誉会長の伊藤喜美（いとう・よしみ）氏が7日午後0時

5分、肺炎のため名古屋市の病院で死去した。93歳。恵那市出身。自宅は恵那市大井町1783の2。通夜、葬儀・告別式は近親者のみで執り行う。喪主は妻友子（ともこ）さん。後日、お別れ会を開くが、日時、場所は未定。

法政大卒。陸軍中野学校を経て、終戦を迎えた。1945年に家業の食料品店を父から引き継ぎ、58年主婦の店（現在のバロー）設立、社長に就任し、会長を経て2005年から相談役名誉会長。県経済同友会筆頭代表幹事、恵那商工会議所会頭なども歴任した。

99年、私財を投じて伊藤青少年育成奨学会を設立。07年恵那市第1号の名誉市民に選任された。79年紺綬褒章（教育施設資金寄付功績）、86年藍綬褒章（産業振興功績）、96年岐阜新聞大賞（産業賞）。

14年旭日中綬章。バローグループはスーパーマーケットを核にホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブなど約660店舗を展開し、海外にも出店。連結売上高は4705億円（15年3月期）。

「悲しみ言い尽くせぬ」

地元恵那市民ら悼む声

7日死去した伊藤喜美さんを名誉市民とする地元恵那市では悼む声が聞かれた。可知義明市長は「市中央

学校や高校の同級生2、3人を集めて月1度、恵那市内のフランス料理店で雑談会を開いていた。メンバーの一人で中津商高時代の同級生、板津逸朗さん（93）は「中津川市蛭川」は「一時は回復し、6月にお見舞いに行った際、『近く退院できる』と話していたのに」と肩を落とした。

め、草野球チームをつくるなど仕事以外にもバイタリティーあふれる人だった」としのんだ。山本好作恵那商工会議所会頭は「恵那のみならず、中部財界にとって掛け替えのない存在。悲しみは言い尽くせない」と語った。バロー本部がある多治見市の古川雅典市長は「新しい小売業の形態を開拓された伊藤相談役名誉会長のご逝去は誠に残念」とコメントを出した。

知事「功績に敬意」

バロー創業者で相談役名誉会長の伊藤喜美氏の死去を受け、古田肇知事は「長年にわたり、県経済界のリーダーとして、県の発展に多大な尽力をいただいた。ご生前の功績に敬意と感謝を申し上げます」とコメントした。